

セミナー② 8/7 (金) 13:00~13:50

女性研究者のリアル研究ライフⅡ

本間 あや

北海道大学大学院医学研究院耳鼻咽喉科頭頸部外科教室・客員講師
札幌花園病院診療部長睡眠医療センター・副センター長



講演内容(伝えたいこと)

例えば、「夜は鼻詰まりで眠れないけど、昼はそうでもないのはなぜ？」といった、身の回りの出来事に疑問を持ち続けることが科学の発展に重要です。病気の原因を調べたり、新しい治療法を探したりする研究ではマウスなどの動物実験が重要な役割を担っています。しかし、動物実験で得られた結果をそのまま人に当てはめるのは難しいことがあります。体内リズムの研究では、マウスは夜行性で人は昼行性という違いがあります。また、人は一人ひとり体質や生活習慣が異なり、多様性に富んでいるため、人の研究は一筋縄ではいかないこともあります。私が経験してきた研究生生活（耳鼻科医→大学院→英国留学→現在）を通して、研究活動や海外留学がより身近なものであることを感じてもらうえると嬉しいです。



研究テーマ

鼻粘膜時計遺伝子発現を指標としたアレルギー性鼻炎に対する新規治療戦略の開発（2019年度）

概要

アレルギー疾患では夜間から早朝にかけて症状が増悪しやすい。この背景には、ホルモンや神経系、免疫反応の日内変動の影響があげられる。マウスの鼻粘膜では安定した時計遺伝子発現リズムが観察でき、これまで鼻のリズムを乱さないような投薬時刻を検討してきた。本研究では、人の鼻粘膜リズムからその生理的な意義を探り、さらにはリズムを維持しながら治療を行う時間治療法の開発を目指す。

PROFILE

https://researchmap.jp/honma_a